5.15 沖縄人民解放闘争を闘おう

辺野古新基地建設を阻止しよう

安保関連法制の閣議決定弾劾!成立阻止!

全国反戦青年委員会
全日本学生自治会総連合(伍代委員長)
東京都杉並区下高井戸1—34—9 03—3329—0165/0168
http://zengakuren.info/

日帝安倍は「戦後70年」をひとつのメルクマールとして反革命戦争とファシズムへ突撃している。

沖縄・辺野古において、新たな基地建設を強行している。沖縄防衛局はボーリング調査を再開した。そして夏にも本体埋め立て工事を始めようとしている。

これは、「普天間基地代替」といいながら新たに強化された基地を作る、戦争のための基地建設だ。多くの沖縄労働者人民の反対の闘いがある中でも、首相・安倍は「今後とも確固たる決意の下で進めていく」「唯一の解決策」と言い放ち、建設を強行している。4月末のオバマとの首脳会談でも日米同盟の強化とともに辺野古基地建設を確約している。徹底して弾劾する。

また、陸上自衛隊を辺野古へ常駐させる計画も明らかになっている。与那国にも配備しようとしている。自衛隊・米軍の強化を許すな。

沖縄現地の闘いと連帯し、辺野古新基地建設を粉砕しよう。防衛省を徹底弾劾し、安倍政府を打倒しよう。

●海上保安庁の暴行をゆるさない!

新基地建設に向けた攻撃が強まる中で、日帝国家権力の暴力性をもっとも体現しているのが海上保安庁である。

闘う沖縄労働者人民は、抗議船やカヌーで「制限区域」内へと突撃し抗議行動を展開している。これに対し海保は、連日負傷者が出るテロ（国家暴力）をふるっている。

・カヌーを転覆させて、海中に沈める。
・窒息で「死ぬかと思った」と言わせるほどに、顔を何度も水中に沈める。
・手足を押さえつけ、羽交い締めにする。

など文字通りの殺人的暴力だ。

海上保安庁長官・佐藤雄二は「過剰警備に当たらない」「安全のため現場はよくやっている」と言い放ち、さらなる暴力行使を煽り立てている。暴行の下手人に報復しよう。

キャンプシュワブのゲート前でも機動隊・防衛局が闘争破壊の先頭に立っている。基地建設の資材搬入に抗議する沖縄労働者人民に対し、「刑事特別法」という日米安保を補完する治安法を発動し逮捕弾圧を強行している。これらと対決して闘おう。

●沖縄人民解放闘争を闘おう!

辺野古新基地建設を阻止しよう。辺野古への陸自配備をゆるすな。東村・高江ヘリパッド、浦添新基地建設を阻止しよう。与那国への自衛隊配備を阻止しよう。普天間基地を解体しよう。〈基地・沖縄〉の強制を粉砕しよう。新たな同化・皇民化攻撃、沖縄統合支配、「集団自決」賛美=新たな「沖縄戦」強制をゆるすな。米兵の性暴力の続発を徹底弾劾し、反撃・報復の闘いを叩きつけよう。4.28―5.15沖縄人民解放闘争を闘おう。闘う沖縄労働者人民に「沖縄差別ののりこえ」といいなし白色テロ宣言を行う全人民の敵・反革命革マルをせん滅しよう。「慰霊の日」粉砕を叫ぶ反革命木元グループを解体・根絶しよう。

沖縄労働者人民、在「本土」沖縄人民の怒りと闘いに結びつき、4.28―5.15沖縄人民解放闘争を「本土」―沖縄をつらぬく革命的共同で闘いぬこう。

〈安保粉砕、日米軍事基地解体、天皇(制)を頂点とする日帝国家権力解体、沖縄ソビエト樹立を一環とした日本「本土」(ヤマト)―沖縄つらぬくプロレタリアソビエト権力樹立、プロレタリア解放―沖縄人民解放〉に進撃しよう。共に闘おう。

●安倍連合政府を打倒しよう! 「集団的自衛権」行使粉砕!

安倍連合政府は、安保関連法制について、昨日閣議決定し、今日にも国会上程をしようとしている。そして、今国会での成立をもくろんでいる。

主なものは以下のものとなる。①「集団的自衛権」行使にむけた「武力攻撃事態法」改悪。手前勝手に時の政府が規定できる「存立危機事態」という概念をつくって、他国軍と共同で戦闘行動をおこなおうというもの。②「周辺事態法」を「重要影響事態法」に変える。「周辺」という地理的概念を取っ払って、世界の軍隊として自衛隊を再編するもの。「後方支援」という制約もなくして米軍以外との共同作戦も想定する。③「出兵恒久法」の新設。「国際平和支援法」と称して、いつでも自衛隊を戦地に出兵できるようにしようというのだ。これまで特措法を制定してきたことからの大きな転換である。これらとともに、自衛隊の武器使用基準の緩和や「駆けつけ警護」などに関して、PKO法の改悪や自衛隊法の改悪など「有事法」の一括改定をしようとしている。

すでに自衛隊は、戦争に不可欠な兵站活動を担うことによって、他国労働者人民を虐殺している。ゆるすことはできない。自衛隊を解体し、基地を解体しよう。「集団的自衛権」行使、改憲、辺野古新基地建設など戦争に突き進む安倍連合政府を打倒しよう。今こそ、革命的反戦闘争の爆発をかちとろう。

5.15沖縄人民解放闘争とは

5月15日は、1972年「沖縄返還協定」によって沖縄が日帝の下に「返還」された日です。米軍政下での住民虐殺や土地強奪に対して、沖縄人民は反戦・反基地の闘いを燃えあがらせ実力闘争・武装闘争で米軍支配を破産に追い込んでいきました。沖縄労働者人民の闘いが爆発することに恐怖した日米帝国主義は、〈基地の永続的安定的確保〉を絶対条件として「返還」を打ち出しました。

闘う沖縄労働者人民は「返還」を徹底弾劾し、日帝の反革命沖縄統合支配と対決し闘いつづけています。基地の再編・強化と新基地建設と実力対決しながら日米安保の根幹を揺るがす闘いを爆発させています。